

広報

やすらぎ

No.109 令和4年3月15日発行



ノミン (呼称)



アンハ (呼称)

技能実習開始から1年

エルデネバト アンフチメグ (21歳)

ドルジンスレン ノミンズル (22歳)

はるばるモンゴルから来日し、介護技術や知識を身につけるためにぶなの園で頑張っている二人の技能実習生。実習開始から1年が経過し、コミュニケーション能力もかなり高くなっていきます。利用者の方々に常に丁寧に接する姿は私たち職員も見習

アンハ
私もラーメン
ギョーザ
も大好き

質問3
日本で一番おいしいと思
った食べ物は何？

アンハ
モンゴルはいろんな音が
聞こえて賑やか。日本は
静かな国

質問2
日本に住んでみてモンゴ
ルと違うところは？



実習評価試験合格証書を手

アンハ
いろんなことが進歩して
いる国

質問1
日本に来る前の日本のイ
メージは？

うべきところがあり、明るくて優しい性格は介護の仕事に非常に向いていると感じます。そんな二人に、日本について思っていることを聞いてみました。



昼会の配膳をするノミン

猿橋の宿舎での生活にもすっかり慣れた様子の二人。コロナが落ち着いて東京に旅行できる日を夢見ながら今日も頑張っています。

質問5
日本で行ってみたい場所は何？

アンハ
東京！
東京に行きたい。いろんな場所に行ってみたい

質問4
一番おいしくないと思っ
た食べ物は？



入浴後のケアをするアンハ

ノミン
刺身が食べられない。納豆のおいもダメ

アンハ
赤飯とか豆が入っているのが好きじゃない

室内でかまくら作り

ディスプレイがたくりの園

今年の西和賀町は記録的な積雪量となりました。ならば、かまくらでも作りましょう!とはいえ外は寒くて出たくない…。よし!暖かい室内でお手頃なかまくらでも作りましょうか。筆で風船に半紙をペタペタと糊付け。「何ができるんだ?」と不思議がる利用者さんでしたが、乾いてから中の風船を取り出してもやはり「何だ、これは?」。周りに雪に見立てた綿を貼り、ようやくかまくらが完成したことを理解した方もおりました。中のライトを点滅させるとまた違う雰囲気となり、ほっこりした気持ちになりました。



みんなで楽しく制作

ろうそくの光と温もり

ディスプレイがたくりの園

今年も町の雪あかりは中止となりましたが、利用者の皆さんに喜んでいただきたいと、かたくりの園前に「寅」の雪像を作りました。いつもより規模は小さめですが、それでも高さ4メートルの雪山を使って雪灯籠や寅のパネルを設置。作業中には多くの方々から「頑張ってるな」と声をかけていただきました。夕方ろうそくを灯すと幻想的な景色になり、利用者も職員も携帯電話を片手に優しい灯りを眺めておりました。昨年実施することができなかった雪あかりを今年はみんなで楽しむことができてよかったです。



あったかくてかわいい雪あかり

新型コロナワクチン

3回目接種

次々に新しい株に変異しながら私たちに苦しめ続けている新型コロナウイルス。一般の住民に先行して、ぶなの園入所者と職員が2月に3回目のワクチン接種を受けました。一度に全員は接種できないので、3つのグループに分かれて7日、14日、21日に実施。西和賀町健康福祉課や西和賀さわうち病院のご協力により安全かつスムーズに終わっております。また、衣類等に付着したウイルスを施設内に持ち込むことを予防するため、抗菌ミストが噴射されるゲートを入付口に設置しました。費用はかかりますが、一層の感染リスク軽減を図ってまいります。



ワクチン接種を受ける職員

節分の日にぶなの園にやってきたのは大きな体格の赤鬼と黒鬼。待つてましたとばかりにディスプレイ利用者の方々には紅白のお手玉で追い払い、続けて特養とショートステイ利用者の皆さんが豆を投げつけて撃退しました。よく見ると鬼のお腹と背中にはコロナウイルスや疫病退散の妖怪「アマビエ」を描いた模様。鬼たちは人々を苦しめていたコロナウイルスの終息を願い、わざと一緒に退治してもらったのかもしれない。その証拠に一度退散した鬼たちは



設置した抗菌ゲート



ケーキ喫茶で幸せなひととき

恒例のケーキ喫茶を1月24日に開催しました。イチゴショートやチョコレイトケーキ、ロールケーキ、プリンやゼリーなど、サイズは小さめですが並んでいるのを見ていただけで幸せな気分になりました。好みのケーキとドリンクを選んでもら



ケーキは人を幸福にします

い、ゆっくりと甘い時間を堪能。遠慮しながら1個だけ選んでいた方はあまりの美味しさに追加のオーダー、いろんな味と食感を楽しんでいただきました。甘党にはたまらない特別な日でした。

鬼と一緒にウイルスも撃退!!

節分の日にぶなの園にやってきたのは大きな体格の赤鬼と黒鬼。待つてましたとばかりにディスプレイ利用者の方々には紅白のお手玉で追い払い、続けて特養とショートステイ利用者の皆さんが豆を投げつけて撃退しました。よく見ると鬼のお腹と背中にはコロナウイルスや疫病退散の妖怪「アマビエ」を描いた模様。鬼たちは人々を苦しめていたコロナウイルスの終息を願い、わざと一緒に退治してもらったのかもしれない。その証拠に一度退散した鬼たちは



でっかい鬼たちがやってきた



福の神に変身!

福の神となって再度登場し、利用者の皆さんの幸せを約束してくれました。福の神に会えた喜びを感じながら落花生を食べている姿を見ていただくと、幸せのおすそ分けをいただいた気分になりました。



総施設長 佐々木

■日本の3月は年度の締め括りの月であり4月からの新たな環境への準備月となっている。春の訪れと共に卒業式やひな祭り、春彼岸など、新型コロナウイルスによる制限はあるものの日常においても希望に満ちた月である。その最中、プーチン大統領によるウクライナ侵攻は目に余るものがある。クリミア紛争等冷戦時代からの歴史的な背景はあるものの、核を盾に厳寒の中でインフラを抑えての侵攻は、人を人と思わない常軌を逸した狂気であり決して許されるものではない。さらに発布されたロシア軍事情報統制強化法は、ロシア国民ばかりでなく世界に対する暴挙であり報道、言論、表現の自由を奪い真実を隠蔽し軍事侵攻が正当化されようとしている。停戦への糸口が見えない中でロシアへの経済制裁はいたしかたないとしても世界経済の損失は大きい。早期の解決と社会秩序ある世界平和を願う。

あたたかい善意を頂戴し厚くお礼申しあげます

令和4年1月1日～2月28日

【ご寄付】

・有馬英夫 様

【ご寄贈】

・西和賀町商工会女性部 様



西和賀の桃の節句はまだまだ寒くてあたり一面雪山だらけ。でもぶなの園の施設内に飾られたひな壇を眺めていると気分は春です。自分の娘や孫のために人形を飾ったことを、懐かしく思い出している方もいるかもしれません。その人形たちに負けにくいくらい美しい表情で記念撮影。お昼にはおいしいちらし寿司を堪能し、目も舌も大満足の3月3日でした。



あしあと

【1月】

1日 住民新年交賀会
おせち料理メニュー
理事長年頭挨拶
コロナ対策本部会議
11日 デイぶな第三者委員現場視察
13日 デイぶな第三者委員現場見学
14日 かたくり小正月行事
17日 出張理容
18日 デイ小正月行事
24日 ケーキ喫茶
25日 広報やすらぎ発行
27日 コロナ対策本部会議
31日 法人内部監査
コロナ対策本部会議

法人の主な動き

【2月】

3日 節分豆まき
恵方巻メニュー
7日 コロナワクチン接種 (第1班)
12日 雪あかり
(ぶな・かたくりの園)
14日 コロナワクチン接種 (第2班)
15日 コロナ対策本部会議
21日 コロナワクチン接種 (第3班)
28日 コロナ対策本部会議

やすらぎ会ホームページ
最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪



<http://yasuragikai.com/>

編集後記

上空に寒気が居すわると連日の除雪で心身疲労。きれいに仕上げてもあつという間に元に帰ってしまう虚しさ。冬型が緩んで小休止するも天気予報による「休憩終わり!」のお告げ。でもこの緊張感がいいのかもかもしれません。春が近づき一気に気が緩んでいるこの頃です。

やすらぎ会広報委員会

猿橋 香苗 為田眞太郎
高橋知英子 丹波 りか
高橋 涉

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389

【発行・編集】 社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会